



公民館だより
バックナンバーはこちら

発行元/厚木市立玉川公民館 〒243-0121 厚木市七沢 175-6 ☎(046) 248-0006 FAX(046) 270-2300 メールアドレス 8619@city.atsugi.kanagawa.jp

たまがわ 安心安全 通信

玉川地区では、安心して安全に暮らせるまちの実現に向けて、犯罪を「起こさせない、許さない、見逃さない」の防犯三(さん)ない運動を推進しています。

11月26日、安心・安全なまち会議では自治会長や関係団体の協力を得て、公民館前に防犯監視所を設置し、同時に地区内の一斉防犯パトロールを実施しました。参加者32人が6班に分かれて、担当エリアを防犯の視点から「不審車両はないか」「見通しの悪い路地はないか」など危険な場所の把握に努めました。パトロールの実施報告では、事件や犯罪に直結しかねない

犯罪を「起こさせない、許さない、見逃さない」

地域を挙げて防犯に取り組む



地区内を一斉に
防犯パトロール

不審者や不審車両の発見などの報告はありませんでした。ただ、こうした身近な生活環境を点検するパトロールは犯罪を抑止し、犯罪の発生しにくい地域づくりに大切な取り組みとなっています。



▲公民館入り口に防犯監視所を設置。玉川駐在所の石田さんも参加

安心安全なまち会議・高橋登議長は「玉川地区は犯罪の少ない地域ですが、気を引き締めて犯罪のない地域を目指しましょう」と話していました。

公民館の

学級講座

参加無料

認知症への理解を深めよう

認知症サポーター 養成講座



高齢者を見守り、地域の中で支え合う認知症サポーターについて学びます。

【日時】1月22日(月) 9:30~11:00

【会場】玉川公民館

【内容】認知症高齢者の支援の方法や介護サービスなどについて学ぶ。

【講師】玉川・森の里地域包括支援センター職員

【対象】市内在住・在勤・在学の方 20人

※応募多数の場合は抽選

申込み

1月10日までに、直接または電話で玉川公民館 ☎248-0006 へ。

公民館の文化事業



歴史を学ぼう
2回シリーズ

地域の歴史 紐解く

10月29日・11月26日開講 参加者のべ32人

今年の「玉川地区の歴史を学ぼう」は、地域の古道を歩くことをテーマに、その沿道の道祖神や庚申塔などを巡りました。第1回は小野・岡津古久方面を歩き、小野神社の由緒や点在する道祖神や庚申塔などの説明を聞きました。第2回は七沢方面の古道を訪ね、七沢神社をはじめ、同じく沿道にある道祖神や庚申塔などの説明を聞きました。参加者らは、玉川地域の歴史を歩きながら現場で紐解いていました。参加者アンケートには「玉川の歴史を知ることができました」「七沢地区の石造物の、保存状況の良さ、そして特徴を知ることができました」「講師の説明が詳しく分かりやすかった。加えて地元の方々の補足説明も興味深かったです」など体験型の講座を満喫できたようです。

玉川公民館・地区市民センターの 年末・年始の業務について



年末年始(12月29日~31日、1月1日~3日)の間、玉川公民館(図書室含む)は休館となります。

貸館等の公民館業務と諸証明発行等の地区市民センター業務はできませんのでご注意ください。なお、1月4日(木)から通常通り開館します。

※休館日は、借りた本のブックポストへの返却もできません。

【問合せ】玉川公民館 ☎248-0006

お知らせ

12月			1月							
27日	28日	29日	30日	31日	1日	2日	3日	4日	5日	
水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
開館	開館	休館日					開館	開館		





被爆ピアノで平和の尊さを伝える 矢川さんの講演会

広島市の調律師・矢川光則さんを招き11月22日開催した「被爆ピアノ講演会」には、60人余りが参加。そのうち演奏や朗読などで出演していただいた方は7人。みんな矢川さんの活動に共鳴し、「ピアノに触れてみたい」との思いから公民館の講演会に協力いただきました。

講演会では矢川さんの話に続き、矢川さんを題材にした絵本「旅するピカドンピアノ」の朗読を市民リポーターの常盤真樹子さんと娘の美海さんが、そして歌「平和のピアノ」は作曲家・大矢千穂さんの伴奏でそのお母さま・和田晴美さんが歌うという、ダブルの親子共演が繰り広げられました。その後、厚木ゆかりのピアノ二スト・渡辺俊爾さんの演奏をはじめ、4人の音楽家の皆さんが思いを込めた演奏を披露し、会場内は平和をかみしめ、世界の平和を祈るような厳粛な雰囲気になりました。



▲矢川さんの絵本を朗読する常盤真樹子さん(左)と娘の美海さん(右)



▲「平和のピアノ」を歌う和田晴美さん



▲被爆ピアノとの出会いや思いを話す矢川光則さん



▲ピアニスト・渡辺俊爾さんの演奏



▲作曲家・池田文磨さんの演奏



▲作曲家・大矢千穂さんの演奏

被爆ピアノの音色から 平和をかみしめる



参加者の

声

◀最後に、この日の出演者全員が揃ってあいさつすると会場の拍手は鳴り止みませんでした。音楽家の皆さん素晴らしい演奏をありがとうございました



▲「夕焼け小焼け」の伴奏をする声楽家・高松京子さん

参加者アンケートの満足度では全員が「満足」と答え、感激・感動のコメントが多く綴られていました。そのコメントの一部を紹介します。

◆若い世代へと「平和」の願いを広げ続けていただきたいと思いました(80代・女) ◆私たちがいま、戦争なく幸せな暮らしができていることにありがたく、毎日が幸せです。被爆2世の矢川さん、これからもお体に気を付けて全国にこのピアノのお話を広めていただきたいと思います(70代・女) ◆矢川様の真実とお話を終戦の年に生まれた者として、とっても感激しました。広島市民の皆様の悲しい思いは、いかばかりと思いを馳せました(70代・女) ◆矢川さんの被爆ピアノで思いを伝えていくのが素敵だと思いました。応援しています(10代・女) ◆ピアノの側面の大きな傷に歳月を感じました。美しい音楽と原爆のむごたらしさの差が大きく何とも言えない気持ちです(50代・女) ◆被ばくピアノの音色がとてもきれいでした。ほかの被ばくピアノの音色も聞きたいです(10代・女) ◆いろいろな音楽家さんの曲が聞けて楽しかったです。広島であったこと、自分も知りたい

です(10代・女) ◆世界に広がっていく活動とそのパワーに感動しました(50代・女) ◆これまでたくさんの方々の目や耳や手や心に触れた、喜びや悲しみの詰まった奥深い音色を聞かせていただき、ありがとうございました(女) ◆多くの音楽関係者が、矢川さんに協力なさって、この平和活動が続いていることに感銘を受けました。最後に「夕焼け小焼け」をみんなで合唱できたこと素晴らしい…(70代・男) ◆矢川さん！お体をいたわりながらこれからも世界中に平和を届けてください。いま世界で、争われている戦争が一日も早く収束することを願います(80代・女) ◆被ばくピアノとともに、全国に平和の尊さを訴えておられる矢川さんに心から敬意を表したいと存じます。この日本に間違っても戦争などというものがないよう祈るばかりです(80代・男) ◆古いピアノなれど、ピアニストによる演奏の音がとても素晴らしかったのは言うまでもありません(70代・女) ◆平和への思いが伝わってきました。心に響くピアノの音色が素晴らしかったです(50代・女性) ◆世界に大きなメッセージが届くように！(男) ◆いろいろな方が参加されてとても楽しかったです。心にしみる素敵な音色でした(70代・女) ◆戦争は悲しいことばかり、「考える力」を持った人間のすることではありません(70代・女) ◆100年前のピアノとは思えない響きでした。戦争、しかも原爆を乗り越えたピアノ、深い音でした。矢川さんのご活躍を祈ります(60代・女) ◆初めて被ばくピアノの音を聴きました。深い響きでとてもよかったです。子供たちにも聞かせてあげたかったです(60代・女) ◆ピアノを通していろいろと考えさせられました(40代・女)

ご協力ありがとうございました。

『幸福の木』厚木から広島へ

玉川公民館での矢川さんの講演会に合わせて平和をテーマに制作した造形作品『幸せの木』。この日、被爆ピアノの横に置いて舞台を演出しました。講演終了後、制作者の造形作家・林有為子さんから「矢川さんへプレゼントしたい」との申し出に、矢川さんは「活動の中でぜひ活用させていただきます」と高さ2mの作品を自前のトラックに積み込み、広島へ持ち帰りました。きっと厚木と広島を結ぶシンボルとして矢川さんの平和活動の一助になってくれるに違いありません。

林先生(左)の贈呈の申し出を快諾する矢川さん(右) ▶

